



令和4年8月5日

埼玉県中央部森林組合との林業分野における連携協定の締結について

埼玉県信用農業協同組合連合会(以下、「JA埼玉県信連」)は令和4年8月3日に埼玉県中央部森林組合と林業分野における環境負荷軽減対策・気候変動対策に関する連携協定を締結しました。

埼玉県中央部森林組合は、組合員のための組合として健全な山づくりをモットーに苗木生産・植栽から育林、収穫及び木材加工・販売まで一貫した事業を行っております。この活動において森林の若返りを図りながら、CO₂の吸収・固定能率をアップさせ、また、伐採後の速やかな苗木の植栽により防災など公益的機能の維持増進を図るなど、事業を通じて環境負荷軽減等に取り組んでいます。

JA埼玉県信連は設立以来、埼玉県農業と県内JA並びに地域社会の発展を金融面から支援する金融機関として歩んでまいりました。また、JAグループの一員として「持続可能な農業・地域共生の未来づくり」の達成を目指し、金融機能の提供のみにとどまらず、環境負荷軽減や地域社会の活性化等幅広い活動にも取り組んでいます。

このような中、当会は事業活動を通じ持続的な社会の実現を目指すべく「サステナブル経営ポリシー」を新たに定め、地域活性化や環境対策、働き方の多様化を推進しております。また、この取組みにおいて「SDGs支援積立金」を創設し、県内JAや行政・団体が取り組む環境保全や地域社会を支える活動を中長期的に支援することとしました。今般の連携協定は当支援金を利用する初めての取組みであり、今後両者の協力のもと、林業分野における環境負荷軽減と気候変動対策に中長期的に取り組んでまいります。

【埼玉県中央部森林組合と埼玉県信用農業協同組合連合会との連携協定】

- (目的) 両者が連携・協力し、埼玉県内の林業分野における環境負荷軽減対策及び気候変動対策に関し、相互に連携して活動に取り組み、持続可能な地球環境の保護に貢献することを目的とする。
- (取組) GHG(温室効果ガス)削減に資する県内の森林保全に向けた取組み及び、これらを遂行するための各種事業・体制整備・新技術の導入
- (事業)
- 優良材質遺伝子の保存
 - 新技術の苗木生産
 - 造林DXによる総合林業技術の確立